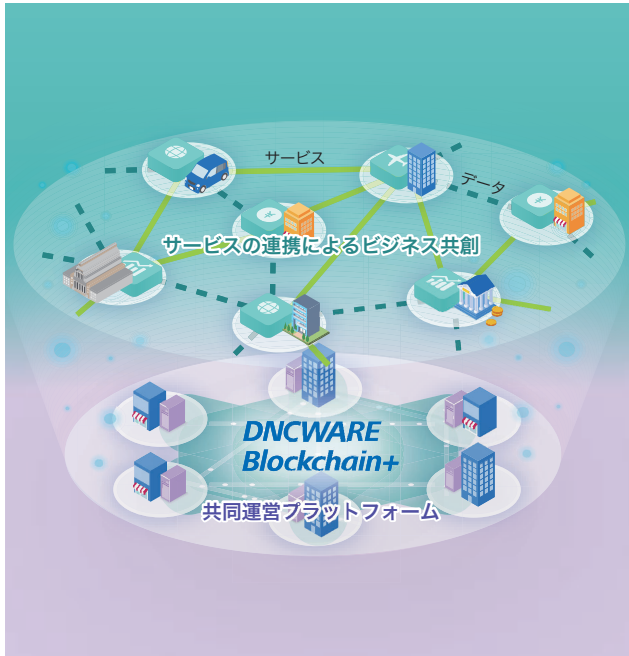
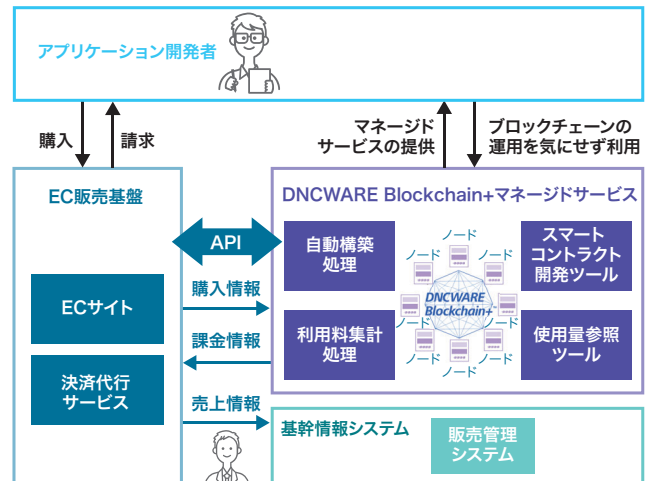


ビジネス共創に適した DNCWARE Blockchain+ マネージドサービス



DNCWARE Blockchain+ が目指す世界
DNCWARE Blockchain+ goal



API: Application Programming Interface

DNCWARE Blockchain+ マネージドサービスの概要
Overview of DNCWARE Blockchain+ managed service

DNCWARE Blockchain+ (以下、Blockchain+と略記)は、当社の実績あるクラスター技術に基づいて開発した高信頼のエンタープライズ向けブロックチェーンである。ブロックチェーンは、複数企業が透明性を持ってデータ連携できるという特長がある。Blockchain+は、この特長を生かし、ブロックチェーンプラットフォーム上に誰もが自由にサービスを開発し、更に、それらのサービスが連携することにより、新たなビジネスを共創する“データがつながり、サービスが広がる”という世界を目指している。その実現には、誰もが容易にBlockchain+を導入できるサービス形態と販売形態が必要であり、今回、EC(電子商取引)販売によるマネージドサービスの提供を開始した。

Blockchain+は、合意形成アルゴリズムやデジタル署名などの複雑なブロックチェーンの仕組みの存在を意識することなく使えるようにする技術を用いている。アプリケーション開発者側とノードを運用するサービス提供者側とで権限が明確に分離でき、マネージドサービスに適したアーキテクチャーとなっている。また、ノード障害発生時に速やかに回復できるように、ノードの再起動の自動化やノードの構成変更の仕組みを整えた。このため、アプリケーション開発者は、ブロックチェーンプラットフォームの構築・運用を意識することなく、すぐに使うことができる。

販売形態は、外部サービスと連携した当社のEC販売基盤を利用することで、従来の受注型SI(System Integration)の仕組みでは対応できなかった従量課金やクレジットカードでの決済を実現した。アプリケーション利用環境の構築や課金情報の収集も自動化し、利用開始や利用料金請求までの時間を短縮している。

現在、従来の受注型SIの仕組みでは対応が難しかった、数社のスタートアップ企業が、EC販売を利用して契約している。

関係論文：東芝レビュー、2023、78、4、p.50-53.